

第二次新潟市立図書館ビジョン 令和2年度実績 評価シート(西区)

図書館の基礎的数値	西区図書館の実績			
	指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1 資料購入費	決算額	13,457	11,304	11,092
2 蔵書冊数(単位:冊)	図書のみ	178,988	179,090	180,252
3 個人貸出人数(単位:人)	図書、雑誌、AV	204,400	201,184	156,522
4 個人貸出点数(単位:点)	図書、雑誌、AV	711,545	698,501	569,407
5 個人登録者数(単位:人)	有効期間は4年	20,448	19,821	18,264
6 (うち新規登録者数)(単位:人)	上記の内数	2,311	2,043	1,426
7 団体の貸出冊数(単位:冊)	図書、雑誌	20,230	20,620	15,649
8 入館者数(単位:人)	図書館のみ	449,866	446,643	332,520

ア 市民の生涯学習や課題解決を支援します。	指標	実績	実績	目標	実績	目標	令和2年度西区の取組結果	令和2年度外部評価欄	
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	令和3年度		段階評価	自由記述
<p>施策① 多様な利用に応じた図書館サービスの提供</p> <p>予約件数</p>		153,169件	153,538件	153,500件	152,340件	153,500件	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、新潟市立図書館が18日間臨時休館したこと、内野図書館が約半年間空調工事のため休館したことが影響し、施策①、②とも目標を達成できませんでした。</p>	3 大変評価できる	<p>①に関しては、この状況下で前年度比1,200件減はマイナス要素ととらえる必要はないと考えます。逆に自粛ムードで利用のニーズが高まったのではないのでしょうか。 ・COVID-19禍の中、予約件数が微減であったことは評価できます。一方でレファレンス件数が減少しています。COVID-19の影響から対面コミュニケーションを避ける傾向はあるが、それを踏まえ取組に工夫が必要ではないと思います。 ・コロナ禍ならではの図書館サービスを推進してください。 ・レファレンスという言葉が頻りに活用されていますが、利用者にとどの程度、意味・内容が浸透しているのか分かりません。実情が分からないのですが、もっと分かり易くその内容・事例を紹介してはどうでしょうか。 ・デジタル図書館の方向もご検討ください。 ・休館日が増えても予約件数が減少しなかったのは図書館が市民生活の中で恒常的に利用されていることだと思います。 ・レファレンスについての周知は継続が必要と思います。 ・コロナ禍で本の貸出冊数と期間を変更していた期間があり、感染拡大防止に注意していると感じました。 ・レファレンスサービスの充実に向けて利用者が分かりやすい工夫や声をかけやすい雰囲気づくりをお願いします。</p>
<p>施策② 課題解決のためのレファレンスサービスの充実</p> <p>レファレンス受付件数</p>		18,473件	17,325件	18,400件	14,095件	14,500件		2 ふつう	
<p>イ 特色ある地域づくりのために地域資料を収集・活用します。</p> <p>施策① 地域資料(郷土資料・行政資料)の体系的な収集</p> <p>郷土・行政資料の蔵書冊数</p>		11,085冊	10,852冊	11,000冊	11,092冊	11,200冊	<p>施策①については、行政資料や新刊等の郷土資料に関する情報収集に努め、登録に結びつけた結果、目標を達成しました。施策②については、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、新潟市立図書館全館が18日間臨時休館したこと、内野図書館が約半年間空調工事のため休館したことが影響し、目標を達成できませんでした。</p>	3 大変評価できる	<p>上記ア②と関連付けて、より一層活用してもらえるよう工夫を期待します。 ・地域に密着した資料の蔵書が増えたこと及び臨時休館があったことにも関わらず展示回数がH30年実績と同等程度であったことは評価できます。 ・施策②の「地域の課題」とは何ですか。「今年は〇〇を課題として取り組む」など、ポイントを絞って資料収集・蔵書の充実を図ることはできないでしょうか。 ・地味でアピールしにくい分野なので展示はたいへんですね。 ・プラス1冊(ゆかりの作家の1冊、新潟が舞台の1冊など)のような気軽なコーナーがあると身近に感じるのはないでしょうか。 ・坂井輪地域学の作成した本を図書館においてもらう事で、地域のことを子どもたちに伝える時に役立ちます。</p>
<p>施策② 地域の課題解決に役立つ資料の活用</p> <p>資料のテーマ展示回数</p>		89回	101回	100回	80回	85回		2 ふつう	
<p>ウ 子どもの読書活動を推進します。</p> <p>施策① 子どもの読書環境の整備</p> <p>児童書の貸出冊数(個人・団体)</p>		212,500冊	210,700冊	210,700冊	173,262冊	185,000冊	<p>新型コロナウイルスの影響により、個人・団体とも図書館の利用や、教育機関等からの講師派遣の依頼が減少したことにより、施策①②とも目標を達成できませんでした。</p>	3 大変評価できる	<p>②に関して、対面が難しい場合、ZOOMで対応するなど、状況下での工夫を期待します。 ・児童対象事業が多様に設定され、内容も充実していると思います。 ・今後、COVID-19の影響により「アフター(ポスト)コロナ」と言われている中、新たなサービスを検討していく必要もあるのではないかと考えます。 ・巣ごもりを親も子ども読書をして過ごすことが多かったようです。これからも読書の良さを伝えてください。 ・西内野地区図書室でのボランティアによるおはなしのじかんの参加が他館に比べて多い。今後たくさんの方に利用してもらいたい。 ・コロナ禍で活動がやりにくいと感じています。 ・ブックスタート→うちどくの取組はとてすばらしいと思うので、ずっと続くことを願っています。</p>
<p>施策② 学校、保育園・幼稚園・子ども園、公民館などとの連携と支援</p> <p>子どもの読書推進に関わる職員派遣</p>		12人	15人	15人	4人	5人		2 ふつう	
<p>エ 市民参画と協働を推進します。</p> <p>施策① 利用者・市民による図書館運営への参画</p> <p>図書館協議会や利用者懇談会の開催</p>		図書館協議会を2回開催	図書館協議会を2回開催	図書館協議会を2回開催	図書館協議会を2回開催	図書館協議会を2回開催	<p>施策①については、第1回を集合開催、第2回目を書面開催としました。施策②については、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、ボランティアの皆さまから協力していただきながら実施する事業を、中止もしくは大幅縮小した影響により、目標を達成できませんでした。</p>	3 大変評価できる	<p>2年度の実績をもとに、アフターコロナの運営の仕方を考えることが必要な時期です。 ・ポストコロナ社会において、従来までの事業運営について見直しを必要があると考えます。例えば図書館協議会の2回目は書面開催であったように、今後は工夫を重ねる必要もある。 ・以前に戻るのではなく、新しい生活様式でのボランティア活動と意識を切り替えるのが大事だと思います。 ・ボランティアの皆さんが新型コロナウイルスに感染しないよう十分な対策をとって活動していただきたい。 ・コロナ禍ではありますが、おとなの読み聞かせなどボランティアさんたちの活動の場が少しでも広がることを願っています。</p>
<p>施策② ボランティアや教育機関・民間団体との連携協力</p> <p>ボランティア参加のべ人数</p>		805人	854人	900人	75人	250人		2 ふつう	
								1 評価できない	